ヘルスツーリズムによる福地温泉観光促進

名古屋外国語大学
現代国際学部　国際教養学科
松本 大輝　　江戸 咲良

プレゼン概要

１，はじめに
２，ヘルスツーリズムとは
３，現地調査からみる福地温泉の状況
４，日本の現状
５，福地温泉におけるヘルスツーリズム
　— 施策①、施策②、施策③
６，まとめ

はじめに

出典：福地温泉観光協会「岐阜県高山市奥飛騨温泉郷 福地温泉」

はじめに

福地温泉の魅力

- 山々に囲まれた静寂の中で温泉に入れる
- 古民家風の宿が多いため歴史を深く感じられる

今ある魅力を生かしつつ“ヘルスツーリズムの福地温泉”を定着させて観光促進を図る

ヘルスツーリズムとは

ヘルスツーリズムの定義

国連世界観光機関

健康維持に関する養生法、エクササイズや食事管理、各種療法、医療サービスを通して、肉体的、精神的に良好な状態に改善することを主要な目的としたリゾートディスティネーションへの転地やヘルススパ旅行

日本
観光立国推進基本計画（2007）

自然豊かな地域を訪れ、そこにある自然、温泉や身体に優しい料理を味わい、心身ともに癒され、健康を回復・増進・保持する観光形態

ヘルスツーリズムの市場拡大

2019年に約2兆8,600億円だった市場規模は、2025年に約3兆6,700億円、2030年には約4兆5,200億円に成長すると推計されている

出典：国立大学法人琉球大学 ウェルネス研究分野（n.d.）
PwCコンサルティング合同会社（2021）

現地調査からみる福地温泉の状況

福地温泉観光基礎調査

目的

福地温泉訪問者の観光意識・動向を知る

実施期間

2022年9月3日～10月10日

実施方法

現地での街頭調査・11軒の宿泊施設での留置調査

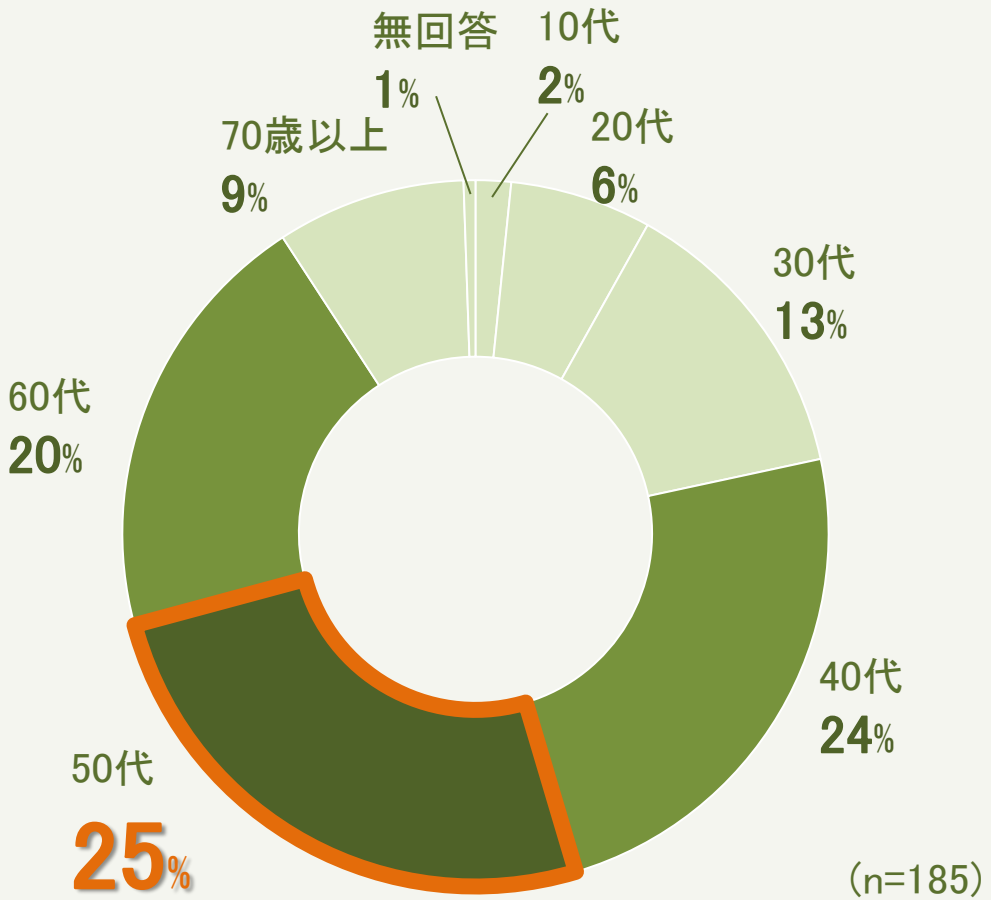
回答数

合計回答数254件、うち有効回答数185件（有効回答率72.8%）

現地調査からみる福地温泉の状況

1 年齢

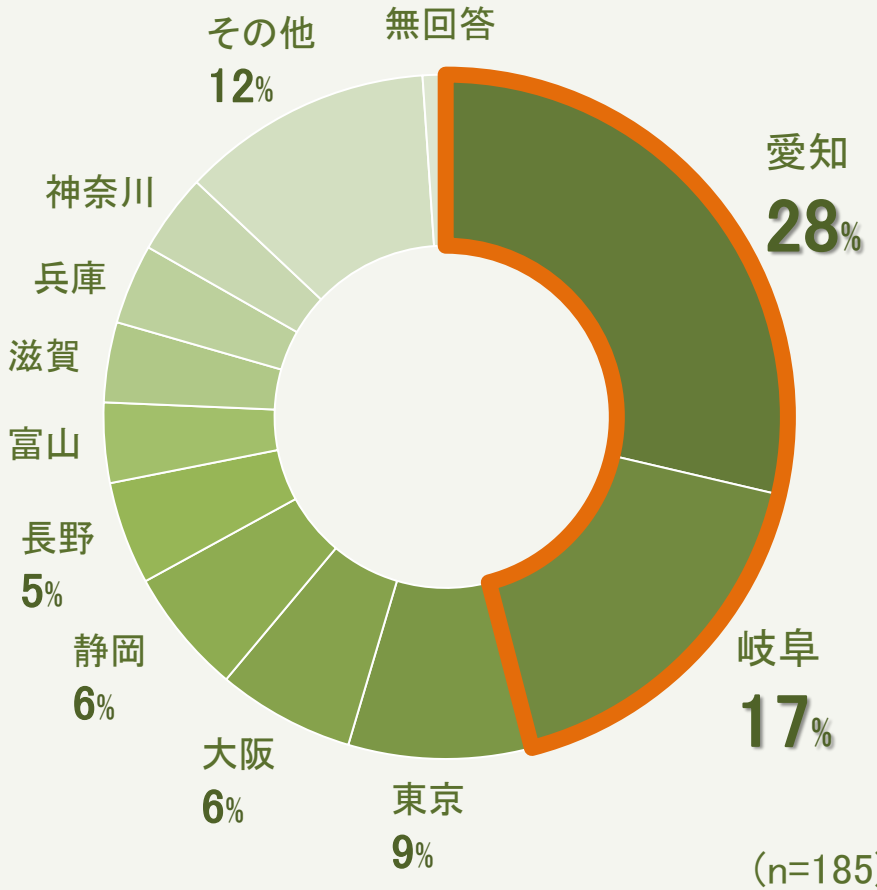
- 50代が25%で一番多い
- 40代～60代は69%でこの範囲が特に多い



現地調査からみる福地温泉の状況

2 居住地

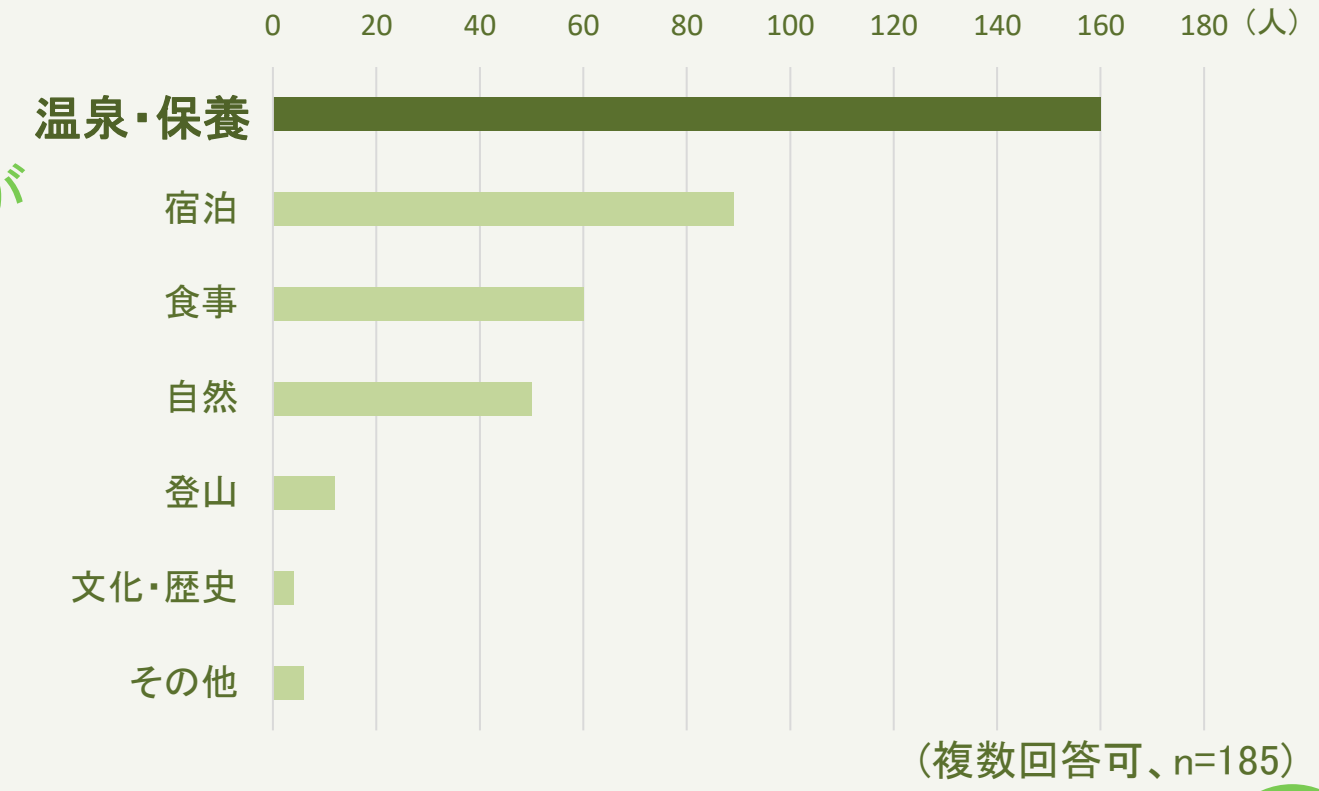
- 愛知、岐阜だけで45%と際立って多い
- 中部地方（愛知、岐阜、静岡、長野、富山、石川、福井）で見ると、66%である



現地調査からみる福地温泉の状況

3 訪問目的

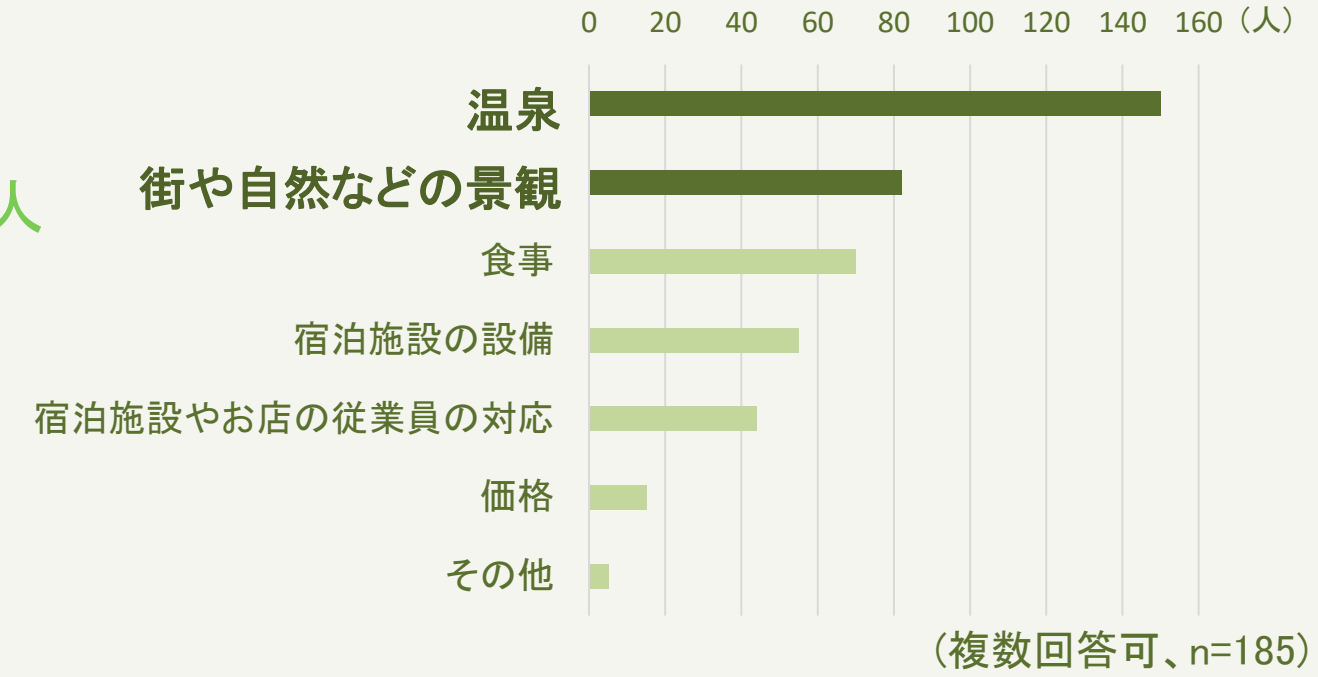
- 「温泉・保養」と回答した人が160人と一番多い



現地調査からみる福地温泉の状況

4 福地温泉で魅力に感じた点

- 一番は「温泉」の150人、次に「街や自然などの景観」の82人となる



現地調査からみる福地温泉の状況

年齢

50代をピークとして40代～60代の範囲が特に多い

居住地

近隣県からの訪問者が多い

訪問目的

「温泉・保養」を目的とする訪問者が多い

福地温泉で魅力に感じた点

魅力の一番は「温泉」、次に「街や自然などの景観」となる

- 特に近隣県に住む中高年をメインターゲットにする
- 温泉・自然などの強みを生かす

日本の現状

高齢化社会

日本の総人口は1億2,550万人で、そのうち65歳以上人口は3,621万人
⇒総人口に占める高齢者の割合（高齢化率）は28.9%（2021年10月1日現在）

高齢者市場の拡大

2012年時点で100兆円に到達した以降も、毎年1兆円規模で拡大すると見通されている

高齢者のニーズ

- 高齢になるほど健康に対する関心は高くなり、健康のための投資意欲が高まる
- 高齢者は日々の自由な時間を如何に満喫できるかについての関心が高い

出典：前田展弘（2013）

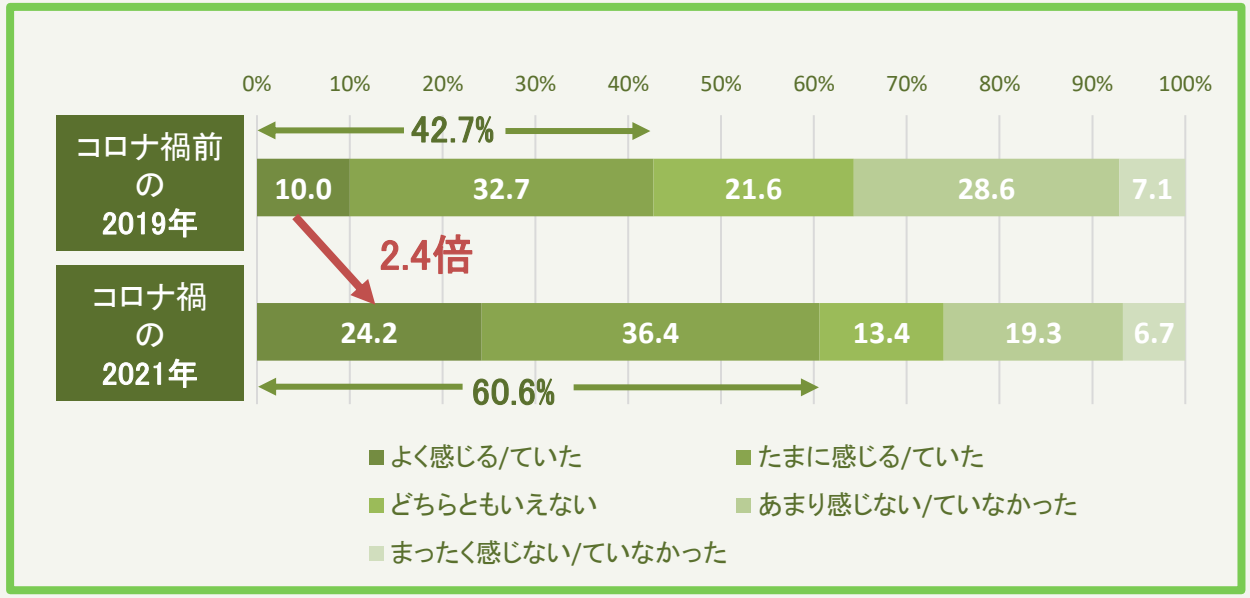
高齢化社会を意識した観光施策は効果的

日本の現状

株式会社インテージが実施したストレス実態の調査

- 年代別に見ると…
  ストレスを「よく感じる」人は
  50代が一番多い

- 働く50代、ストレスを「よく感じる」人
  はコロナ禍前の2.4倍



出典：株式会社インテージ（2021）

50代のストレス解消につながる施策は効果的

福地温泉における
ヘルスツーリズム

温泉

心身ともに高い回復効果

福地温泉の強み

自然

健康促進のための重要項目

福地温泉の強み

運動

健康維持も増進も可能

厚生労働省が推奨

福地温泉における
ヘルスツーリズム

温泉・自然・運動
を三本柱とする
“ヘルスツーリズムの福地温泉”

福地温泉における
ヘルスツーリズム

施策①

「温泉×自然」

施策②

「温泉×運動」

施策③

「運動×自然」

「温泉×自然」

“畳敷き風呂”

「畳敷き風呂」とは？

「下呂温泉　小川屋」
＠岐阜県

浴室の床に畳を敷き詰めたお風呂のこと。
畳には特殊な加工が施されており、
畳上でお湯が溢れかえってしまうことや、
腐食して不衛生な状態になってしまうこと
はなく、掃除用具で手入れもできる。
冬であっても浴室で足元が冷えにくい。
（おもてなしHR 2020）

https://www.gero-ogawaya.net/hotspring/public_bath/#lnk_shirasagi

実施すべきわけ

調和と癒し

福地温泉の落ち着いた雰囲気に調和
自然のぬくもり、柔らかさによる癒し効果

バリアフリー

滑りづらく転んでも怪我しにくい畳は
高齢化社会に最適

インバウンド観光

稀少性が高く、日本文化を最大限に堪能できるので外国人観光客の増加に貢献

「温泉×運動」

“温泉水中ウォーキング”

温泉水中ウォーキング

温泉で水中ウォーキングができる場所を設けて、温泉と水中歩行運動のメリットを同時に受け取る

「クアハウスかけゆ」@長野県

「マキノ高原温泉さらさ」@滋賀県

- 温泉水を用いている施設は少ない
- 一般的なプールの一画にスペースがあったり、タイル張りで作られたりしている施設がほとんど

http://makinokougen.co.jp/publics/index/37/

http://bit.ly/3VAwr8f

温泉水中ウォーキング IN 福地温泉

https://www.fukujionsen.com/hotspring/

木や石などの自然素材を基調とした
情緒あふれる雰囲気の温泉水中ウォーキング施設

実施すべきわけ

安全な健康運動

筋力や持久力を高めるトレーニング効果
身体への負荷が少なく安全

独自性

福地温泉の雰囲気に合わせた造りで、
他ではできない体験を

心身ともに

落ち着いた雰囲気での運動が、心と体の健康に繋がる

「運動×自然」

“福地温泉周遊ウォーキング”
“福地山トレッキング”

福地温泉
周遊
ウォーキング

出典：福地温泉観光協会「岐阜県高山市奥飛騨温泉郷 福地温泉」

約3kmの間に宿がまとまっている地形を生かして、せせらぎの小径や石動神社、朝市など
福地温泉全体を巡りながら自然を直接感じてウォーキング

福地山
トレッキング

出典：福地温泉観光協会「岐阜県高山市奥飛騨温泉郷 福地温泉」

初心者でも登りやすい自然豊かな福地山の山道を歩く

ここを目指して福地温泉に来る観光客も多い

実施するために

改善点１　道の整備

改善点２　“のくとまり入湯手形”復活

改善点３　看板設置

1，道の整備

ちょっとした散歩ができるような散策道が欲しい。せせらぎの小径は
道のりがよく分からず、とても恐ろしくて止めてしまったから、
改善した方がいいと思う。

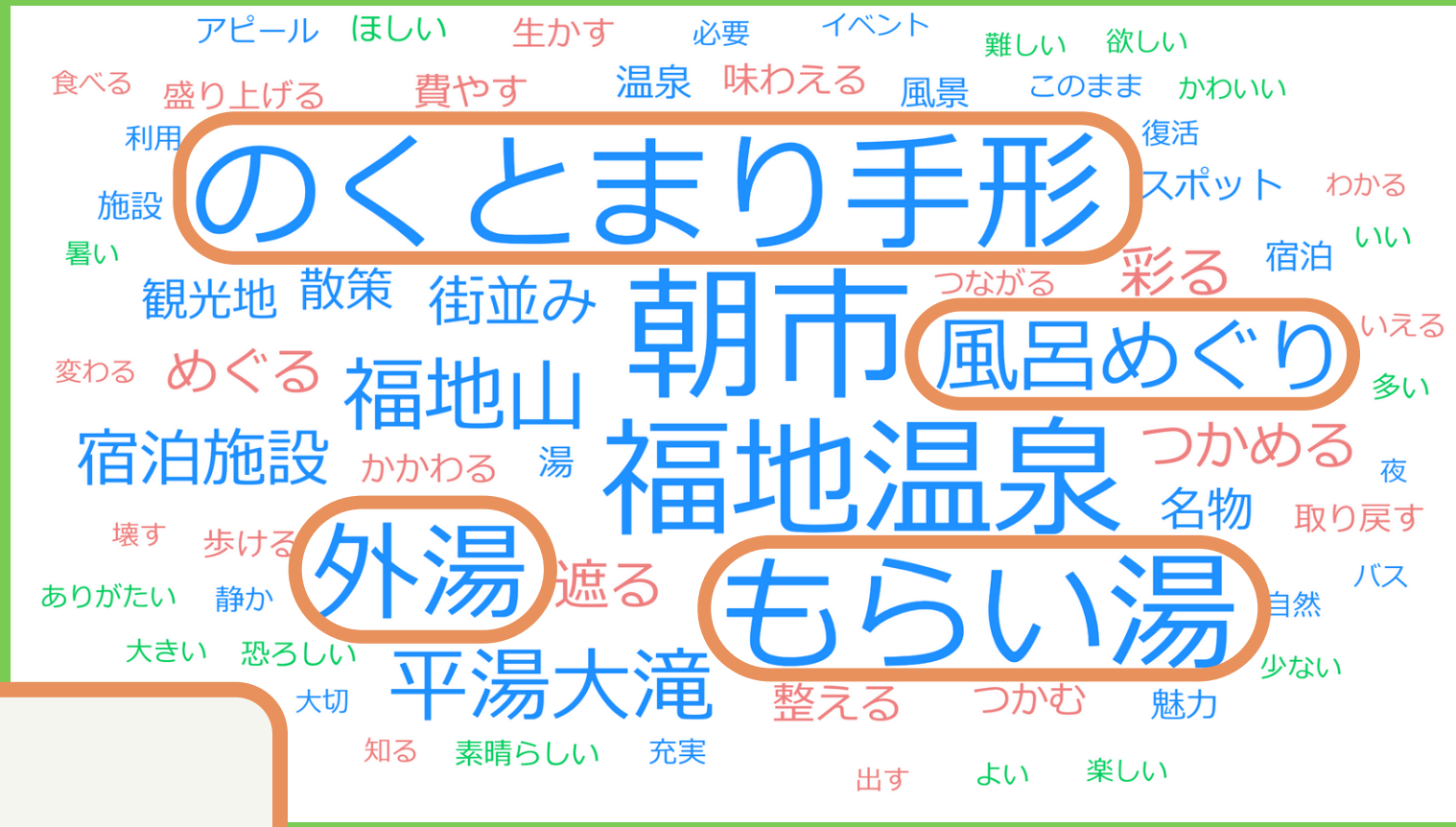
福地山登山道の入り口が分かりにくい。

夜に歩けるような風情のある街灯の
増設をしてほしい。

・ウォーキングコースの整備
・せせらぎの小径や福地山登山道では、
　特に入り口を整備・明確化

2，“のくとまり入湯手形”復活

出典：福地温泉観光協会「岐阜県高山市奥飛騨温泉郷 福地温泉」



※ユーザーローカル テキストマイニングツール（https://textmining.userlocal.jp/）による分析

- 待ち望む声が大きい
- ウォーキングの“ご褒美”に最適

３，看板設置

・がんばりを“見える化”し、
　モチベーション向上の手助けに
・温泉への道案内

実施すべきわけ

健康維持・増進

健康を維持するだけでなく、体力・筋力の向上にも貢献

最大限に堪能

福地温泉全体や福地山を巡ることで、
周辺の魅力を最大限に味わえる

運動レベルに応じて

訪問者はそれぞれの体力にあわせて
コースを選択

まとめ

「温泉・自然・運動」を三本柱とする
“ヘルスツーリズムの福地温泉”を目指す

近隣の社会人が気軽に休日訪れて疲れを
癒せるような環境づくり

高齢者が魅力的に感じる環境づくり

参考文献（１／３）

上田市鹿教湯健康センター クアハウスかけゆ[n.d.]「イベント情報」 http://bit.ly/3VAwr8f

おもてなしHR[2020]「畳敷き温泉の魅力って？畳風呂で集客を狙おう！」
https://omotenashi.work/column/bits_of_knowledge/16796

株式会社インテージ[2021]「働く50代、ストレスを「よく感じる」人はコロナ禍前の2.4倍～ビジネスパーソンの6割がストレスを感じている～」
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000133.000036691.html

下呂温泉 小川屋[n.d.]「温泉大浴場」
https://www.gero-ogawaya.net/hotspring/public_bath/#lnk_shirasagi

国立大学法人琉球大学 ウェルネス研究分野[n.d.]「ヘルスツーリズムとは」
https://health-tourism.skr.u-ryukyu.ac.jp/health-tourism

厚生労働省[n.d.]「身体活動・運動」
https://www.mhlw.go.jp/www1/topics/kenko21_11/b2.html

参考文献（２/３）

高山市[2022]「行政区画別（町丁別）人口・世帯数」
https://www.city.takayama.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/002/189/gyouseikukaku.pdf

内閣府[2022]「令和4年版高齢社会白書」
https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2022/html/zenbun/s1_1_1.html

日本温泉協会[2021]「温泉の医学的効果とその科学的根拠とは!?」
https://www.spa.or.jp/onsen/4790/

Panasonic[2021]「健康と天気 第3回「気候療法で心身ともに健康に！自然環境を利用した健康法のご紹介」 https://panasonic.jp/life/health/160032.html

PwCコンサルティング合同会社[2021]「令和2年度商取引・サービス環境の適正化に係る事業（ヘルスケアイノベーション環境整備支援事業）（2）ヘルスケア市場規模の推計報告書」 https://www.meti.go.jp/meti_lib/report/2020FY/000147.pdf

参考文献（３/３）

福地温泉観光協会[n.d.]「岐阜県高山市奥飛騨温泉郷　福地温泉」
https://www.fukujionsen.com/
前田展弘[2013]「高齢者市場開拓の視点～100兆円市場が求める商品サービスとは」
https://www.nli-research.co.jp/report/detail/id=40469?site=nli
マキノ高原[n.d.]「温泉水中ウォーキング」 http://makinokougen.co.jp/publics/index/37/
松井健ほか８名[2022]「高齢者の水中歩行動作ならびに集団的水中運動プログラムにおける運動強度の特徴」、川崎医療福祉学会誌、第31巻、第2号、pp.477-488

（最終閲覧日はいずれも2022年11月29日）